

(報道資料)

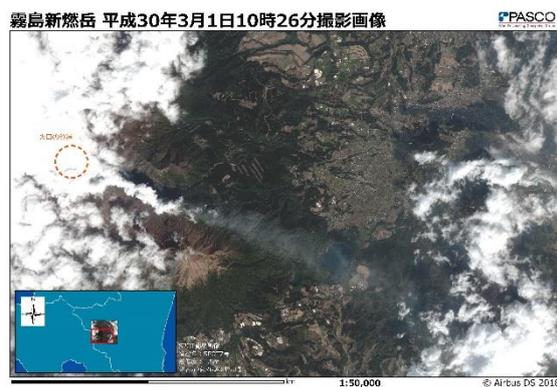
霧島山系新燃岳：噴火口の様子を人工衛星画像で確認 災害緊急撮影 噴火活動

2018年3月1日午前に噴火した霧島山系新燃岳について、株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：古川 顕一、以下パスコ）は、噴火状況の的確な把握と今後の対策・対応を検討される関係各団体への情報提供の観点から、噴火直後から人工衛星（地球観測衛星）による緊急撮影（観測）を開始いたしました。

今回の観測では光学衛星と合成開口レーダー（SAR）衛星を用いて撮影を実施しています。SAR衛星は、電波を照射して地球表面を観測することから、雲や噴煙に遮られた状況においても、地表面の観測が行えます。

【光学衛星の観測成果】

2018年3月1日



10時26分撮影（SPOT 7）



11時31分撮影（ASNARO-1）

2018年3月6日

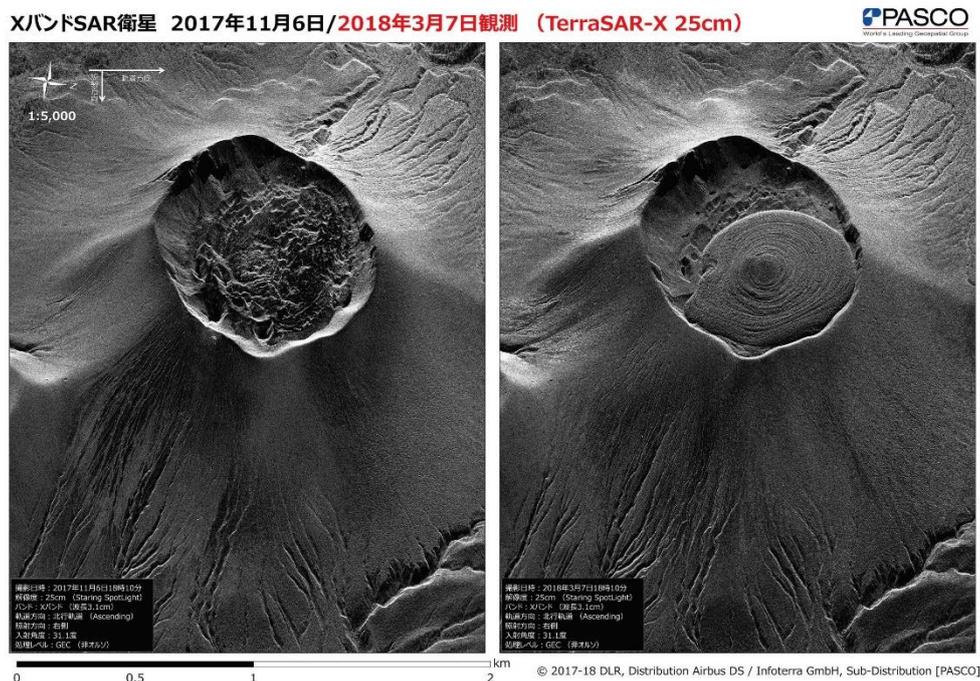


10時39分撮影（SPOT 7）



11時38分撮影（ASNARO-1）

【合成開口レーダー（SAR）衛星の観測成果】



右：2018年3月7日 18時10分撮影
左：2017年11月6日 18時10分撮影

■ パスコの分析結果

パスコでは大規模な自然災害発生時において、迅速な現状把握と復旧・復興に資することを目的に災害緊急撮影を行い、当社の防災技術者や衛星画像解析技術者の知見を元に独自の解析を行っています。

2018年3月7日に撮影したSAR画像からは、火口内に形成された溶岩ドームを鮮明に捉えており、多数の溶岩じわが形成されている様子が把握できます。

※ 上記の結果は衛星画像による分析であり、現地で確認検証したものではありません。

※ ここに掲載の図は正斜投影前の画像です。(スケールは参考値)

今後もパスコは、空間情報事業を通じて安心して豊かな社会システムの構築に貢献すべく、活動を続けてまいります。撮影・解析成果は順次、ホームページにて公開していく予定です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ (ホームページ)
(災害緊急撮影)
(報道機関)

<http://www.pasco.co.jp/>

http://www.pasco.co.jp/disaster_info/

広報部 TEL : 03-3715-1048

プレスリリースの内容は発表時のものです